



# うおぬま通信

第6回

保存版

[発行]新潟県 2018年3月 第6回「地域全体でひとつの病院とは?」



地域のかかりつけ医と  
病院の役割分担と連携を  
知ろう!

写真はイメージです。



魚沼地域  
医療の輪  
地域全体でひとつの病院

## 地域全体でひとつの病院とは?

魚沼基幹病院の高度医療・専門医療

### 魚沼地域の医療の輪

2015年6月、魚沼地域の医療再編が本格的にスタートしました。それまで魚沼地域では、県立病院や市立病院を中心に地域の診療所と連携して意欲的に地域医療に取り組んできましたが、救急や高度医療の必要な方が長岡圏域の病院を利用されるケースも少なくありませんでした。

魚沼基幹病院は、一般財団法人新潟県地域医療推進機構が運営する公設民営の県立病院で、高度先進医療、救命救急センター、地域周産期母子医療センター、放射線治療など、地域の高度専門医療を担う病院として、設立されました。

これまで地域医療を支えてきた病院・診療所との役割分担と連携を進めながら「地域全体でひとつの病院」を目指しています。

「地域全体でひとつの病院」とは、日頃の健康管理などは「かかりつけの診療所や病院」が受け持ち、魚沼基幹病院が急患や専門性の高い診療を受け持つという体制です。地域の病院がばらばらに医療を提供している、限られた人員、設備の中で十分な医療サービスを提供することは難しくなります。そこで「地域全体でひとつの病院」として、魚沼地域の医療の輪をつなぎ、安心して治療を受けられる体制を整えています。

### 魚沼基幹病院の高度医療・専門医療



放射線治療装置用動体追跡システム  
SyncTraX FX4  
+リニアック TrueBeam  
放射線治療科

呼吸などで動きのある臓器(肺、肝臓など)の部位に放射線治療を施す際に、がん組織のみにピンポイントで照射できるようリアルタイムで患部の位置を捉えるシステムで、世界で初めて導入しました。



地域周産期母子医療センター  
産婦人科

先天的な病気や未熟性を持って生まれてきた赤ちゃんの観察と治療。新生児集中治療室(NICU)とその後方病床であるGCUを備え、人工呼吸器や保育器など先進的な機器による集中治療も行います。



脊椎ナビゲーションシステム  
整形外科

様々な姿勢制御が可能な脊椎手術台Triosや脊椎ナビゲーションシステムなど先進的な機器を備え、脊椎(せぼね)の疾患を専門としている医師が常勤していますので、幅広い疾患への対応が可能です。



医療機器メーカーの協力で独自検査システムの導入  
臨床検査科

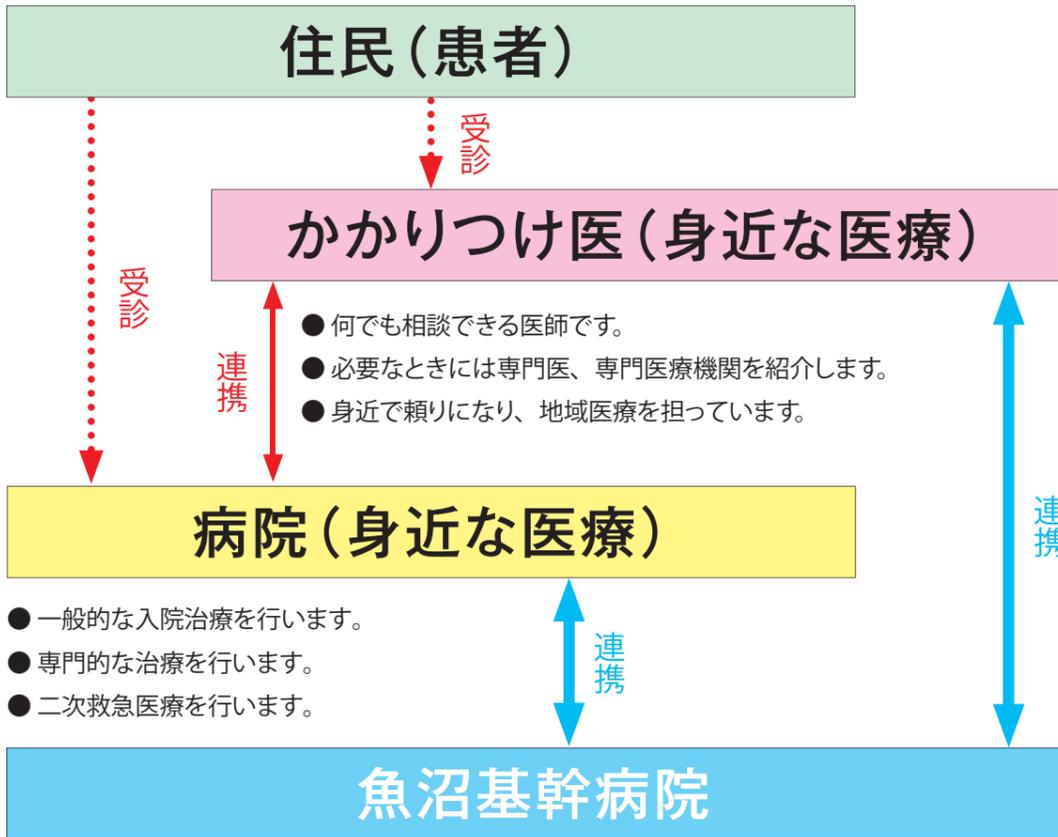
多くの検査で機械化・自動化を進め、短時間で安定した検査データを提供。さらに、国際標準規格ISO15189認定取得の準備をすすめ、県内病院で3番目の取得を目指しています。

# 地域全体でひとつの病院とは？

地域のかかりつけ医と病院の役割分担と連携



魚沼地域  
医療の輪  
地域全体でひとつの病院



## 地域のかかりつけ医と病院の役割分担と連携

魚沼地域では、医師不足解消や救急医療・高度先進医療の充実を目指し、地域のかかりつけ医、病院、高度専門医療病院との役割分担と連携を図っています。

風邪や頭痛、腹痛などちょっと体調が悪いときには「身近な医療機関」を受診していただき、高度・専門医療が必要な時は、紹介状などによって魚沼基幹病院を受診してください。急性期を過ぎれば、また身近な医療機関で対応する仕組みです。市民の皆さまからご理解いただき「地域全体でひとつの病院」の役割と連携にご協力ください。



## 地域の高度専門医療を担う病院

- 高度・専門的な検査・治療を実施します。
- 地域に不足しがちな医療（産婦人科、小児科、整形外科、三次救急医療など）を提供します。

登録  
無料



## “うおぬま・米ねっと”に加入していますか？

「うおぬま・米ねっと」は、診療情報を共有する仕組みです。検査結果やお薬の情報などを、参加医療機関同士で共有して、診療等に活用できます。また緊急搬送時には、これまでの記録が参照できるので、適切な準備をして到着を待つことができます。ぜひご登録をお願いします。

## 問い合わせ先

NPO 法人魚沼地域医療連携ネットワーク協議会  
(うおぬま・米ねっと) 事務局

TEL **025-788-0485** FAX 025-788-0508  
平日: 8時30分～17時 (土曜日・日曜日・祝日及び年末年始を除く)

## 魚沼基幹病院インフォメーション

# 「地域全体でひとつの病院」のために 地域の皆さまにお願いがあります。

症状に応じて、他医療機関へ転院していただく場合があります。

魚沼基幹病院では、高度医療や三次救急を必要とする患者さんを受け入れるため、常時一定の空床を確保しなければなりません。重症期を脱した患者さんや症状が安定した患者さんは、他の医療機関への転院や早期退院をお願いする場合があります。

救命救急センター(魚沼基幹病院)が満床の場合、長岡地域への搬送をお願いする場合があります。

魚沼基幹病院では、救命救急センターで受け入れた重症患者さんを集中治療室で治療を行い、ある程度まで回復した後に一般病棟へ移っていただくケースがあります。このとき、一般病棟が満床で集中治療室から移ることができない場合は、集中治療室のベッドが空かず次の重症患者さんの受け入れができなくなります。そのような事態が起きないように、重症期を過ぎた患者さんには病床移動や転院、早期退院をお願いしておりますが、救急患者さんの受け入れ時にベッドの確保ができない場合は、長岡地域への救急搬送をお願いする場合があります。



魚沼地域では、**看護職員が不足しており  
Uターンを進めています**

県外の病院に勤務されているお知り合いの方がいらっしゃいましたら、お声がけいただくなど、皆さまのご協力をお願いします。

詳しくはホームページをご覧ください。

魚沼基幹病院

検索

hp uonuma-kan-hospital.jp/